

あなたにそして自分にも

どんまいどんまい



「どんまいどんま〜い」10年継続 目標達成の後こそ、自分の生き方

なんとか、
どんまい
継続しなく
っちゃ



N.H.K の番組で日曜日夜の大河ドラマを毎回楽しみにして見ている武田英昭です。

今、放映中のドラマも楽しみにして見ているのですが、来年放映予定の西郷隆盛のドラマを特に楽しみにしています。

西郷隆盛は明治維新の立役者なのに、何故、西南戦争で自分が命を懸けて作り上げた明治政府に反逆して自決しなければならなかったのか。歴史上ではわからない西郷さんの行動に強い関心があります。

ドラマではこの辺の疑問にどのように伝えてくれるのかわかりませんが、西郷隆盛の遺訓として知られる「南洲翁遺訓」を読んで行くと、西郷さんが明治政府の主力メンバーだった長州藩の人達と意見が合わず、陸軍大将でありながら、明治政府を離れて行った心中が思い浮かべられます。

この遺訓の中の一節で私が特に何度も繰り返し読んでいた箇所を略して紹介します。

「どんまい どんま〜い」

他の月の「どんまい どんま〜い」を見逃した方は金物ショップタケダのサイトからぜひ御覧下さい。

失敗した時、がっかりした時、つらい思いをした時、落ち込まず再チャレンジ出来る様にとの思いで、あなたと私の心のかけ橋レターを送ります。

毎月1回発行 発行編集責任者 武田英昭 ㈱タケダ 山形県山形市あかねヶ丘 3-18-1 電話:023-644-5633 FAX:023-644-5663

金物ショップタケダ: <http://www.ks-takeda.biz/>

「道は天地自然の道なるゆえ、講学の道は敬天愛人を目的とし、身を修するに克己を以て終始せよ。総じて人は己れに克つを以てなり、自ら愛するを以て敗れるぞ。」

敬天愛人とは天を敬って人を愛せよという意味ですが、天に恥じない行動をとり、自分の事よりも回りの人を愛しなさいとの教えです。

そして克己とは自分の感情や欲望、邪念などに打ち勝つ生き方に終始すべきとの教えです。

この後に続く遺訓から私なりにその当時の西郷さんの心中を察するような気持ちになってしまいます。

「よく古今の人物を見よ。事業を創起する人は、大抵十に七八迄は良く成しえるが、残り二つを終わり迄成しえる人のまれなるは、始めは良く己を慎み、事をも敬する故、功も立ち名も現れるが、次第に自ら愛する心が起こり、自己を戒める心が緩み、その事業を我が事の為にするので、最後は敗れてしまう。皆な自ら招くなり。」

この教えは、明治政府の権力争いで、長州藩の人達が権力を集中させて政権自体を我がものにして行く事への懸念を表しているように感じてなりません。

私の勝手な解釈なのですが、このように考えて行くと、その後の日本の第二次世界大戦の敗戦までの道のりが、ここから始まっていたのではないかとも思えてきます。

あまりに唐突な解釈ですが、私なりに勝手に考えて行くと増々来年の西郷隆盛の大河ドラマが楽しみになって来ます。

私も、これからの人生を天に恥じない行動をとり、自分の事よりも回りの人を大切にする気持ちで生きて行きたいと思っています。

物事を判断する時は、この事を忘れないようにしたいと思います。

武田英昭

